

# 1 福生市の概要



## (1) 沿革

明治 22 年市町村制施行により福生村、熊川村組合役場を設け、明治 26 年に神奈川県より東京府に編入されている。この頃民営の青梅鉄道（現在の J R 青梅線）が敷設され、明治 27 年に福生駅が開業している。

昭和初期まではこの辺は養蚕を主とした農村であったが、昭和 14 年から 15 年にかけて、市の東北部に旧日本陸軍の「多摩飛行場」が設置され、さらに航空審査部と整備学校等が設置されて人口も増えはじめ、一躍軍都として発展してきた。昭和 15 年 11 月には福生、熊川の両村が合併して町制を施行して福生町が誕生した（昭和 15 年の国勢調査で人口 7,921 人）。

なお、昭和 20 年の終戦と同時に軍部の施設は米軍に接收され、その後、数度の拡張を経て現在の市域の約 1/3 を占める横田基地となっている。

戦後は米軍の進駐に伴い、基地労働者やサービス業関係者等が激増し、一般住宅とともに米軍人用の住宅ハウスが約 2,000 戸も建てられるなど、基地経済が発達し基地の町として、特異な発展をすることとなり、商店街も急速に発展整備されてきた。

「福生七夕まつり」の第 1 回目が昭和 26 年に行われている。商業の繁栄と観光を結びつけた催し物として地元商店街のひとたちが取り組んだものであり、以来、市をあげての一大観光行事となっている（8 月 7 日前後 4 日間開催）。

昭和 37 年頃から基地の町からの脱皮が真剣に考えられ、同年に首都圏整備法による市街地開発区域の指定を受け都市計画を進めてきた。

そして、行政サービスの一層の充実を図るため、昭和 45 年 7 月、地方自治法の特例措置により、人口 38,749 人で市制を施行し、東京都下 18 番目の市となった。

また、昭和 41 年からは地元町会のひとたちが中心となって蛍の保護運動から始まった「ほたる祭」が始まっている（6 月中旬土曜日開催）。昭和 45 年に「世界平和都市宣言」、昭和 48 年に「健康都市宣言」が宣告され、昭和 55 年に「市民憲章」及び「市の歌」を制定。昭和 58 年に「交通安全都市宣言」が宣告され、昭和 59 年には多摩川堤防沿いに植えられた桜約 500 本が成長し、全長約 2.5km の間で「ふっさ桜まつり」が始まっており、春のひとときを楽しむ多くの花見客で賑わっている（3 月下旬～4 月初旬頃開催）。

なお、市の木として「モクセイ」・市の花として「つつじ」（昭和 46 年 12 月 14 日制定）、市の鳥として「シジュウカラ」（平成 2 年 7 月 1 日制定）も制定している。

こうしたことを背景に福生市では、まちづくりの基本方向を示すものとして、昭和 52 年に策定した第 1 期総合計画をもとに、シビルミニマム（市民生活に必要な最小限の環境条件）の視点から主として都市基盤及び生活基盤整備を中心とするまちづくりを進めてきた。

また、平成 2 年に策定した第 2 期総合計画では「輝く街 福生」を、平成 12 年に策定した第 3 期総合計画では「やすらぎ いきいき 輝く街 福生」を、平成 22 年に策定した第 4 期総合計画では、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を目指すべきまちの姿とし、まちづくりを進めてきた。

現在は、令和 2 年 3 月に策定した第 5 期総合計画において、「ひと」「まち」「くらし」の 3 つの視点からまちづくりを進めることを基本理念とし、「人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ」を目指すべきまちの姿と定め、「生み出す」「守る」「育てる」「豊かにする」「つなぐ」を行動指針として、様々な施策、事業に取り組んでいるところである。

## (2) 地勢及び位置

都心からは約 50km 西方にあって、多摩川の東側に南北に横たわる市で、近隣は、立川市、昭島市、八王子市、あきる野市、羽村市、瑞穂町、武蔵村山市に境を接している。また、当市は、秩父山地の笠取山に水源を發した 1 級河川の多摩川のおよそ 50km 下流の左岸（東側）にあたり、武蔵野台地の西端に位置する面積 10.16 平方キロメートルの市である。

市の約 1/3 を占める横田基地は、市の東北部に位置している。地形は、横田基地から西の多摩川に向って三段丘をなす河岸段丘となっている。

J R 福生駅の周辺は中心市街地として発展を遂げ、かつて江戸市中の飲料水となった玉川上水が両側に緑を抱えながら市の北西側から東側に向かい福生市を縦断するように緩やかに流れている。

道路等の主な交通網は、基地沿いに国道 16 号線（東京環状線）が走り、これに主要地方道立川・青梅線（奥多摩街道）、主要地方道杉並・五日市線（五日市街道）及び一般都道と市道が交差している。鉄道は、小さな市域であるが 5 つの駅があり、市の中央部を北西から南東にかけ J R 青梅線（福生駅、牛浜駅、拝島駅）が通り、それに拝島駅には J R 五日市線（熊川駅）、J R 八高線（東福生駅）と西武鉄道（西武拝島線）が乗り入れており、交通の便の良いところとなっている。（拝島駅は、隣接の昭島市との境界に位置している。）

面積	10.16 k m <sup>2</sup> （うち、横田基地約 3.317 k m <sup>2</sup> ）	
東西	3.6 k m	
南北	4.5 k m	
緯度	北緯 35 度 44 分 07 秒	(福生市役所)
経度	東経 139 度 19 分 48 秒	
標高	最高 143m（武蔵野台一丁目付近）	
	最低 104m（福生第五小学校付近）	

(3) 人口及び世帯数

ア 人口及び世帯数

(令和3年1月1日現在)

区 分	人 口 (人)		
	男	女	計
住民基本台帳	28,509	28,515	57,024
日本人	26,728	26,675	53,403
外国人	1,781	1,840	3,621

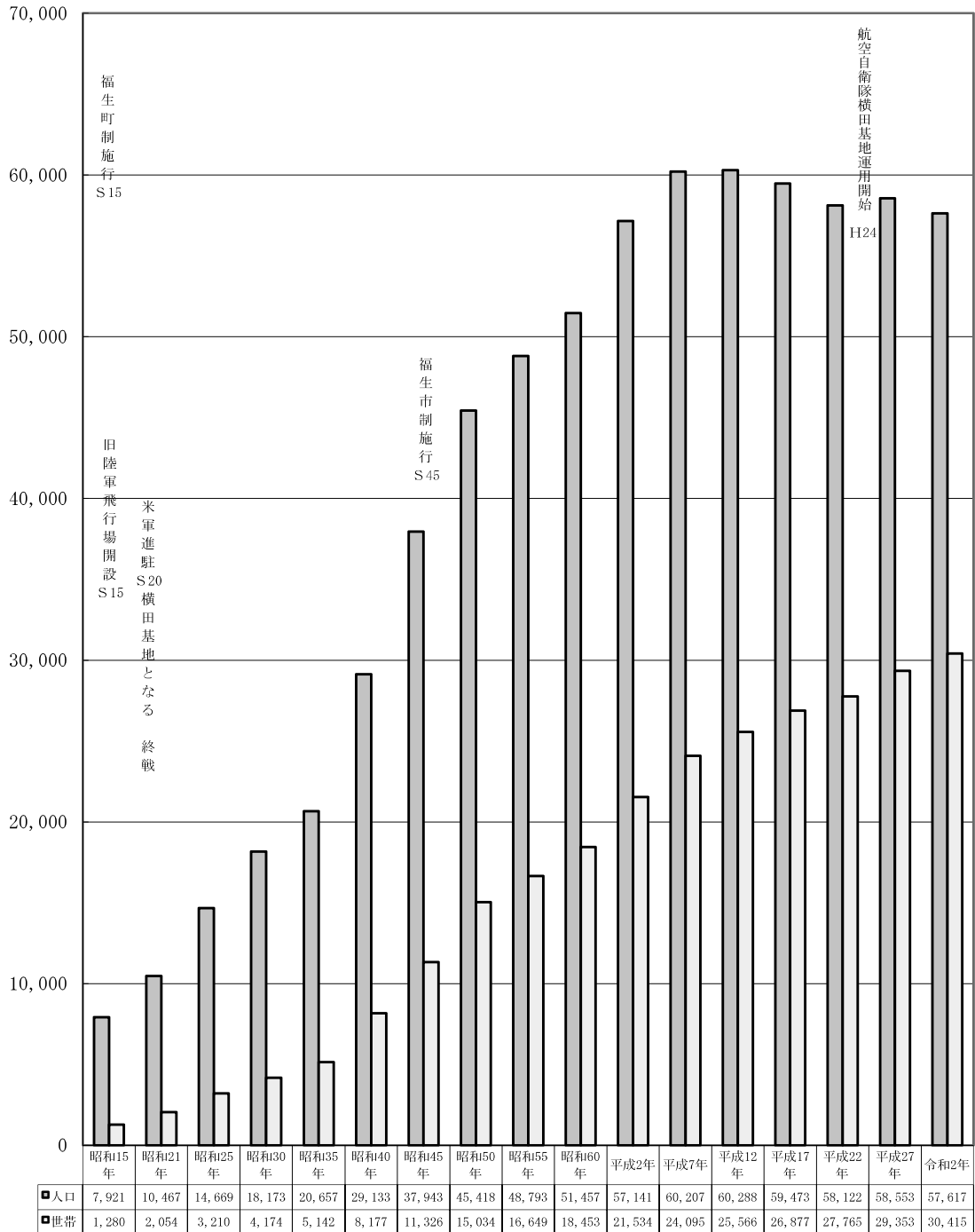
区分	総世帯数	日本人世帯	外国人世帯	混合世帯
世帯数	30,271	27,456	2,278	537

イ 人口及び世帯数の推移 (住民基本台帳・1月1日現在)

※平成24年7月の住民基本台帳法の改正に伴い、平成25年以降は外国人を含む。

年	世帯数	人 口 (人)		
		男	女	計
平成 14	26,359	30,655	29,739	60,394
15	26,519	30,426	29,648	60,074
16	26,549	30,077	29,354	59,431
17	26,877	30,086	29,387	59,473
18	27,175	29,966	29,312	59,278
19	27,327	29,776	29,139	58,915
20	27,542	29,679	28,961	58,640
21	27,691	29,558	28,925	58,483
22	27,765	29,331	28,791	58,122
23	27,681	28,982	28,590	57,572
24	27,596	28,708	28,301	57,009
25	28,978	29,741	29,383	59,124
26	29,066	29,551	29,270	58,821
27	29,353	29,385	29,168	58,553
28	29,711	29,445	29,168	58,613
29	29,977	29,336	29,218	58,554
30	30,176	29,164	29,220	58,384
31	30,506	29,132	29,111	58,243
令和 2	30,415	28,785	28,832	57,617
3	30,271	28,509	28,515	57,024

人口及び世帯数の推移（住民基本台帳・1月1日現在）  
 ※ただし、昭和25年以前は国勢調査による



## (4) 就業人口（産業分類別）の状況

各年10月1日現在  
(資料：国勢調査)

平成27年

産業別分類	就業者数（人）			比率（%）
	男	女	計	
第一次産業	94	32	126	0.50
第二次産業	4,326	1,377	5,703	23.18
第三次産業	8,847	8,435	17,282	69.62
分類不能の産業	931	731	1,662	6.70
計	14,198	10,575	24,773	100.00

平成22年

産業別分類	就業者数（人）			比率（%）
	男	女	計	
第一次産業	96	32	128	0.46
第二次産業	5,088	1,501	6,589	23.79
第三次産業	9,762	9,033	18,795	67.87
分類不能の産業	1,281	900	2,181	7.88
計	16,227	11,466	27,693	100.00

平成17年

産業別分類	就業者数（人）			比率（%）
	男	女	計	
第一次産業	87	21	108	0.37
第二次産業	5,918	1,768	7,686	26.42
第三次産業	10,687	9,421	20,108	69.13
分類不能の産業	695	492	1,187	4.08
計	17,387	11,702	29,089	100.00

平成12年

産業別分類	就業者数（人）			比率（%）
	男	女	計	
第一次産業	65	13	78	0.25
第二次産業	7,197	2,265	9462	30.63
第三次産業	11,275	9,171	20446	66.18
分類不能の産業	524	383	907	2.94
計	19,061	11,832	30,893	100.00

平成7年

産業別分類	就業者数（人）			比率（%）
	男	女	計	
第一次産業	120	35	155	0.49
第二次産業	7,481	2,288	9769	30.90
第三次産業	12,029	8,973	21002	66.43
分類不能の産業	397	294	691	2.18
計	20,027	11,590	31,617	100.00

(5) 市の予算の推移（当初予算）

(単位：千円)

年度別	一般会計	国保会計	下水道会計	老人保健会計	介護保険会計	後期高齢者 医療会計	小 計	受託水道会計	下水道会計		合 計
									収益的収入 取益的支出	資本的収入 資本的支出	
平成13	21,058,526	3,857,959	2,919,565	3,696,668	1,564,202	—	33,096,920	719,787	—	—	33,816,707
14	21,729,180	3,804,925	2,633,214	3,719,024	1,668,431	—	33,554,774	698,531	—	—	34,253,305
15	21,880,212	4,280,107	2,608,387	3,567,322	1,874,071	—	34,210,099	1,000,501	—	—	35,210,600
16	22,103,368 (20,721,468)	4,613,260	2,025,917	3,369,669	2,007,082	—	34,119,296 (32,737,396)	689,680	—	—	34,808,976 (33,427,076)
17	20,518,000	4,781,814	2,116,447	3,273,753	2,281,378	—	32,971,392	467,291	—	—	33,438,683
18	21,796,000	4,882,804	1,929,262	3,198,669	2,584,335	—	34,391,070	419,862	—	—	34,810,932
19	22,583,000	5,593,585	1,872,630	3,018,826	2,643,772	—	35,711,813	466,836	—	—	36,178,649
20	20,193,000	6,117,304	1,610,224	406,260	2,761,654	746,895	31,835,337	375,345	—	—	32,210,682
21	20,354,000	6,236,312	1,562,502	7,154	2,877,132	771,132	31,808,232	420,230	—	—	32,228,462
22	21,335,000	6,074,145	1,619,870	5,597	2,978,017	831,746	32,844,375	—	—	—	—
23	21,644,000	6,401,945	1,443,967	—	3,140,913	857,712	33,488,537	—	—	—	—
24	22,077,000	6,688,387	1,850,555	—	3,250,416	945,079	34,811,437	—	—	—	—
25	21,730,000	6,947,057	1,632,336	—	3,419,962	965,956	34,695,311	—	—	—	—
26	22,090,000	6,956,725	1,712,143	—	3,817,145	1,034,815	35,610,828	—	—	—	—
27	22,750,000	8,041,999	1,720,648	—	3,887,081	1,061,181	37,460,909	—	—	—	—
28	24,880,000	7,940,297	1,652,760	—	3,941,914	1,083,436	39,498,407	—	—	—	—
29	24,810,000	8,017,569	1,658,834	—	4,051,064	1,129,456	39,666,923	—	—	—	—
30	24,400,000	6,884,057	1,406,237	—	4,195,380	1,182,016	38,067,690	—	—	—	—
令和元	25,080,000	6,867,121	—	—	4,346,464	1,271,364	37,564,949	—	1,587,776	620,494	—
2	24,780,000	6,701,133	—	—	4,504,429	1,270,168	37,255,730	—	1,398,929	1,184,561	—
									1,646,101	361,106	—
									1,458,060	907,489	—

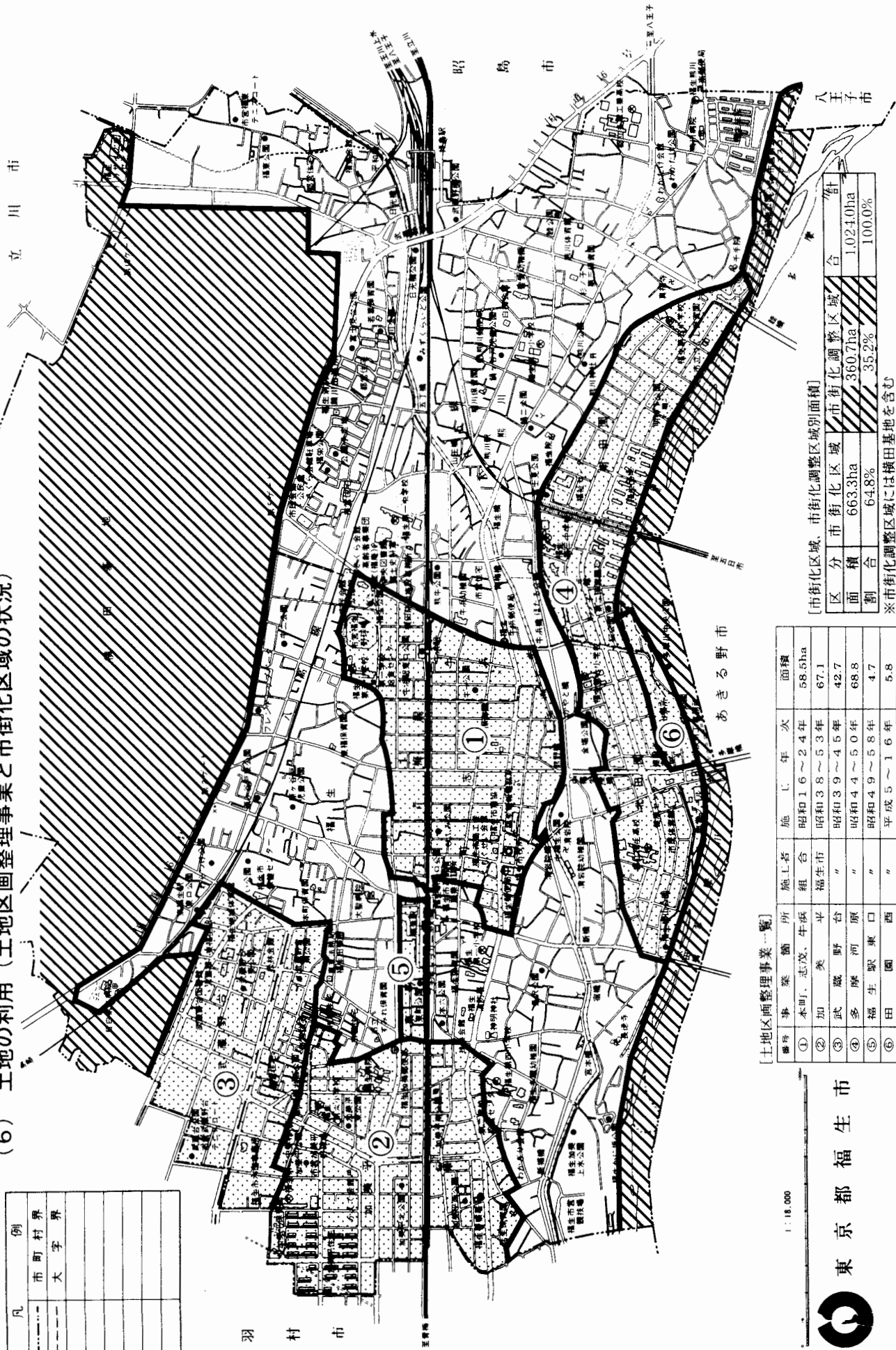
※( )内は、平成7年度及び8年度住民税等減税補てん償借換分1,381,900千円を除いたもの。

※下水道会計は令和元年度から地方公営企業会計化に伴い、小計には含まず。



(6) 土地の利用（土地区画整理事業と市街化区域の状況）

凡	例
---	市町村界
---	大字界



[市街化区域、市街化調整区域別面積]

区分	面積	割合	合計
市街化区域	663.3ha	64.8%	1,024.0ha
市街化調整区域	360.7ha	35.2%	
合計			1,024.0ha
			100.0%

※市街化調整区域には横田基地を含む

[土地区画整理事業一覽]

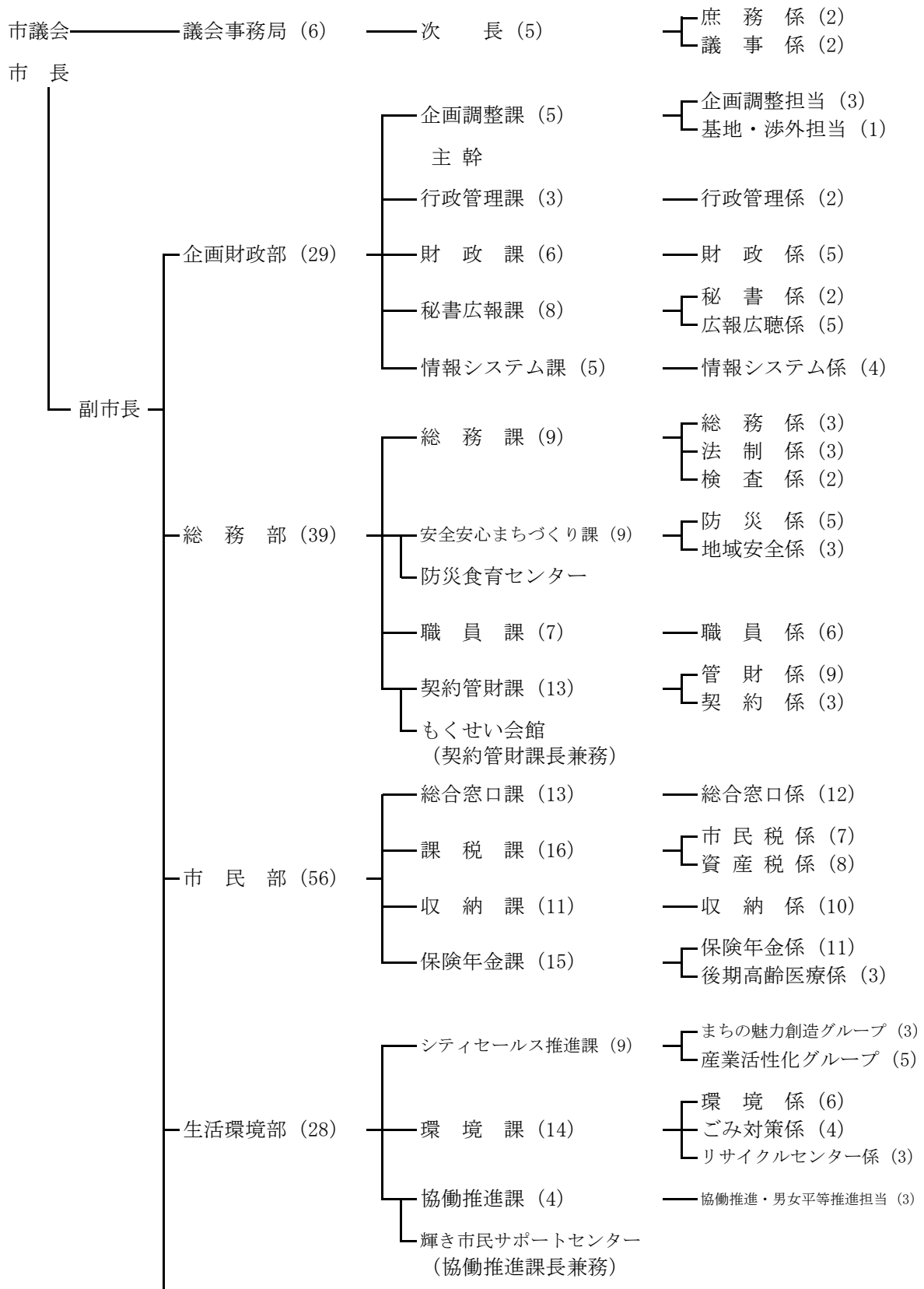
番号	事業箇所	施工者	施工年次	面積
①	本町、志茂、牛浜	組合	昭和16～24年	58.5ha
②	加美	福生市	昭和38～53年	67.1
③	武蔵野台	"	昭和39～45年	42.7
④	多摩河原	"	昭和44～50年	68.8
⑤	福生駅東口	"	昭和49～58年	4.7
⑥	田園西	"	平成5～16年	5.8

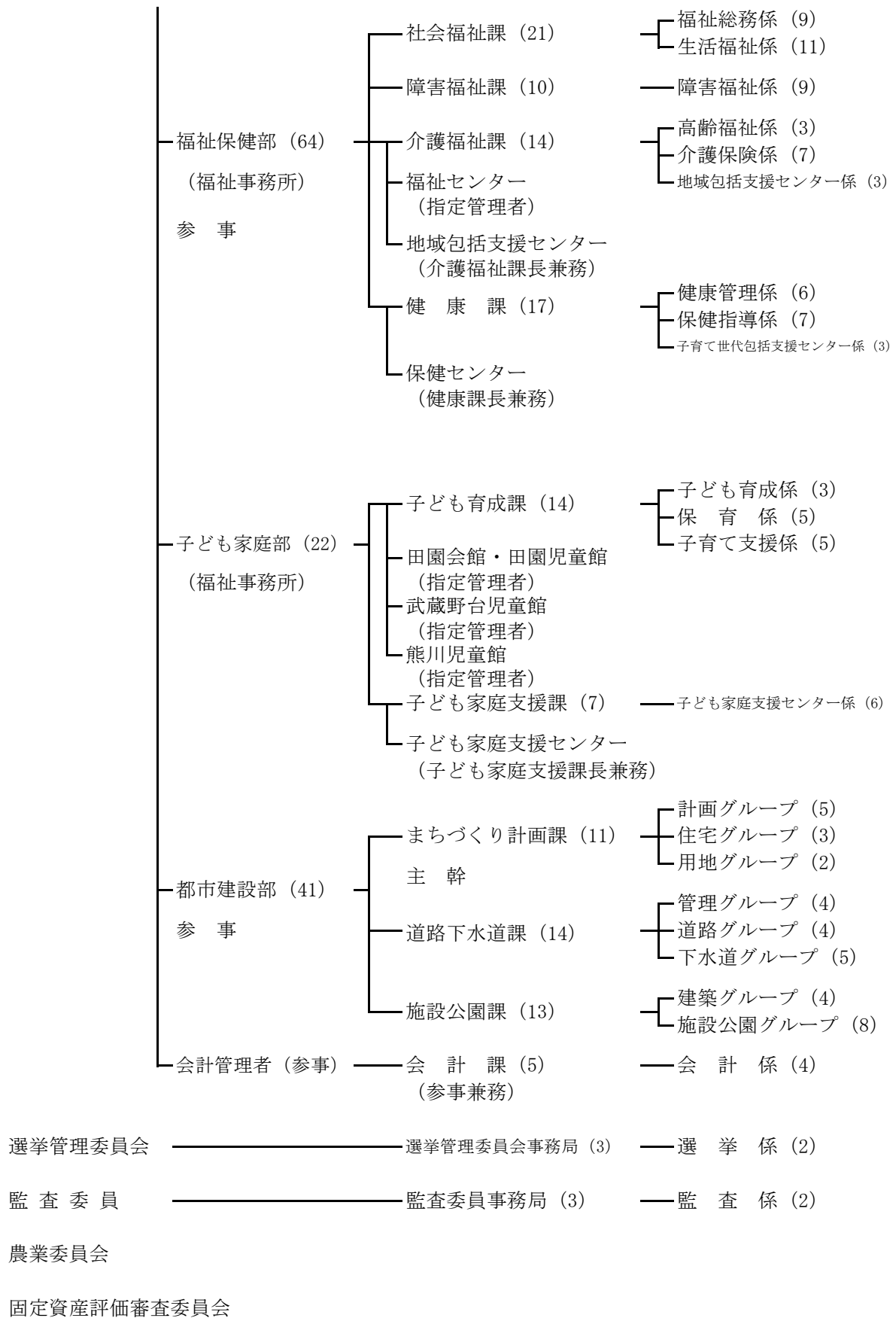
東京都福生市



(7) 組織機構図

令和2年4月1日現在





教育委員会

